

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和3年度分「一部」、令和4年度分を含む)

静岡県立観音山少年自然の家

# 目 次

事務事業の概要	1
事業の根拠法令調	13
預金調	14
郵券等受払調	15
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	16
委託料に関する調	18
負世金支出調	26
土木工事調	28
建築工事調	30
公有財産調	32
借地借家等調	33
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	34
主要備品調	35
職員調	36
職員の年齢調	37
健康管理	37

□□□□□□

## 事務事業の概要

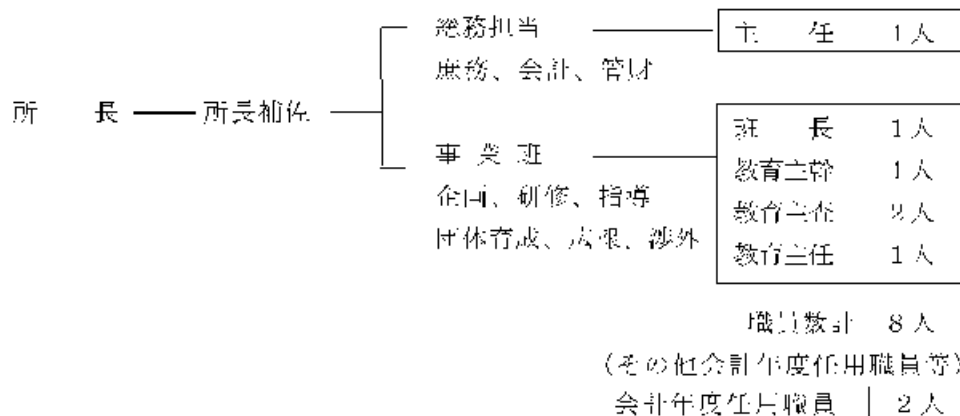
### 1 概況

#### (1) 沿革

观音山少年自然の家は、緑濃い观音山の大自然の中で少年が自然に親しみ、また、集団宿泊生活を通して、同伴・協同・友愛・奉仕等の精神を体得させるための施設として開設された。

昭和47年	9月1日	着工
昭和48年	3月25日	完成
昭和48年	6月15日	開所
昭和49年	3月25日	新水源地完成
昭和49年	3月25日	民俗資料館「かんの」完成
昭和50年	3月25日	倉庫完成
昭和52年	12月5日	屋外便所完成
昭和53年	2月20日	取り付け道路排水工事完成
昭和53年	6月30日	第二キャンプファイヤー場造成完成
昭和55年	3月20日	取付道路舗装工事完成
昭和56年	5月15日	多目的ホール完成
昭和59年	3月20日	汚水処理施設完成
昭和61年	1月23日	厨房改修工事完成
昭和61年	7月25日	屋外洗い場完成
昭和61年	12月23日	受水槽上屋完成
平成3年	2月15日	開所20周年記念誌「观音山の20年」刊行
平成10年	9月16日	リーダー室改修工事完成
平成13年	2月28日	新受水槽完成
平成18年	10月1日	耐震補強工事のため3月31日まで休所
平成19年	3月15日	耐震補強工事完成
平成21年	2月20日	民俗資料館屋根改修工事完成
平成26年	3月20日	オイルタンク設置工事完成

#### (2) 組織図



## 2 運営方針

少年期とは、限りない可能性を秘めた時期である。好奇心をもって様々なことに挑戦し、失敗や挫折を経験しながらも希望を失わず果敢に挑戦し続けることで、自己の可能性を自ら引き出し、大きく開花させることができる。

このような時期に自然体験活動を経験させることは、自然を理解し、自然や人に対する慈しみの心を養うばかりでなく、自主性や社会性、協調性を育み、子どもの成長過程における重要な位置付けと考えている。

また、自然体験活動を通して、「人間としての基礎・基本」を習得するとともに、試行錯誤を重ねて目的を達成した成就感や満足感に、さらなる主体的な取組や問題解決のための意欲や能力を育み、これは、「生きる力」の育成とも結びつくことである。

これらの視点に立ち、「少年自然の家のおねらい」を達成するために、時代の変化に対応した魅力や特色に満ちた質の高い活動プログラムの企画・立案や安心・安全な施設の運営に努めている。

## 3 教育目標

観音山の豊かな自然の中での体験を通して、次のような少年の育成に努める。

- (1) 自然の美しさ、優しさ、厳しさに感動し、自然に親しむ心や自然への畏敬の念をもった子供達を育てる。
- (2) 自律性、協調性を身に付け、実行の心と思いやりの心をもった子供達を育てる。
- (3) 自主性、創造性を身に付け、たくましい心と体をもった子供達を育てる。

## 4 計画(教育目標)の具現化

教育振興基本計画の基本目標である「有徳の人づくりの実践の場として、利用者の立場に立った「観音の心」で、「観音山は感動山、観音山に失敗はない」などの子どもたちへの教訓の合言葉を用いて、親切丁寧でぶれない指導・支援を行う。

また、安心・安全を基盤として、重点目標や数値目標の達成にむけ取り組む。

<令和3年度>

- (1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

### ア 利用団体研修会の開催

入浴予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象とした研修会を1回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらったりして、活動計画の立案や安全対策に関する支援を行った。今年度は、新型コロナウイルス対策についても研修内容に加えた。

なお、8月24日に計画していた研修会は新型コロナウイルスの影響のため中止した。

事業名	期 日	内 容	対 象	参加人数
利用団体研修会	4月16日 8月24日	活動プログラムの説明及び 野外活動体験 等	本所を利用する学 校等の教職員	59人 中止

### イ 事前打ち合わせの実施

利用日の一か月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスを行い、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。また、新型コロナウイルスについても利用団体と対策を共有することができた。

### ウ 令和3年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	21 町	1,556 人
	小学校	87 校	11,027
	中学校	4 校	1,017
少年団等	スポーツ少年団、子供会等	1 団体	130

### エ 利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は 98.7%であった。

## (2) 二倍事業の充実

### ア 小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 観音山フレキャン」 「観音山アドベンチャー キャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、子どもたちが興味を持續できるよう工夫した。初めて親元を離れ参加した子もいたが、仲間を支えられて頑張り抜く姿が見られ、子どもたちはひと回り逞しく成長することができた。

なお、人気がある「冒険王国 観音山」と「観音山もりもりキャンプ」は、企画を立案したが新型コロナウイルスの影響で中止となった。

事業名	期 日	対象	内 容	参加人数
観音山もりもりキャンプ	2月26～27日 3月 5～ 6日	小学校 1～3 年生	新型コロナウイルスの 安全対策上中止	中止
観音山アドベンチャーキャンプ	11月20～21日	小学校 4～6 年生	森林探検、夜間ハイキング 沢登り 等	59 人
冒険王国 観音山	6 月 19～20 日 8 月 8～12 日	小学校 5・6 年生	沢登り、ハイキング等 新型コロナウイルスの 安全対策上中止	78 中止

### イ 家族向けイベント

「観音山ファミリーDAY」は、新型コロナウイルス対策で9月の2日は中止になったが、12月で実施した年末・年始に使うクリスマスキャンドルや門松作りは、家族で協力して製作する姿が多く見られ、家族の絆を深めるための貴重な時間を提供することができた。

また、「観音山子どもフェスティバル」や「観音山わくわくホリデー」などのイベントでも利用者の拡大を目指した。

事業名	期 日	対象	内 容	参加人数
観音山子どもフェスティバル	11月21日	親子及びその家族	ハイキング、森林浴 ゲーム・ビンゴ大会	89 人
	1月25日			99
観音山ファミリーDAY	9月 4日	親子及びその家族	新型コロナウイルスの 安全対策上中止	中止
	9月 5日			42
	12月18日 12月19日			36
観音山わくわくホリデー	10月17日	親子及びその家族	草刈り、洗濯び等	32
	2月13日			中止
ぶらっと観音	5月16日	一般	沢登り	23
	8月22日			中止
夜間ハイキング 観音山ハイキング	9月18日 2月20日	一般	新型コロナウイルスの 安全対策上中止	中止

ウ 参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足度は99.6%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の主催事業に反映させていく。

(3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクールin 観音山」には、延べ74人の大学生が参加した。大学生は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得したり、人との繋がりや関わりの意義を感じたりして、大きく成長することができた。

また、「観音山アウトドア教室」には、30人の市・高校生が参加し、地域社会で活躍する野外活動リーダーとして必要な知識・技術を習得することができた。

事業名	期 日	対象	資格 取得	内 容	参加 人数
リーダースクール in 観音山	5月29～30日 6月19～20日 8月7～13日 11月20～21日	大 学 生 専 門 学 生 社 会 人	中級	「冒険王国in観音山ブンキャン キャンプ」アドベンチャーキャン プに参加 野外活動・安全管理等の謹 義・実技講習 等	25人 25 中止 24
観音山アウトドア教室	1月8～10日	中 学 生 高 校 生	初級	テント設営、ロングハイク ンク・クラフト、講習 等	30
ポテンテニア やまびこ会研修会	4月24～25日 2月26～27日 3月5～6日	大 学 生 専 門 学 生 社 会 人		観音山のボランティアスタ ッフとしての技術の習得 (2月26～27日と3月5～6日は 中止)	24 中止

(4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やHPの充実を努め、その成果として延べ利用者数は14,825人であった。新型コロナウイルスによる主催事業の中止・利用の中止・活動日の短縮、児童数の減少等により、令和2年度同様に利用者も著しく減少した。

区 分	取 組 内 容
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関へのイベント情報提供</li> <li>傘下及び教委掲示板の活用</li> <li>HPによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供</li> <li>県民だよりへの掲載</li> </ul>
学校等訪問	市町教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

(5) 施設・設備の安全対策

- ア 案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。
- イ がけ崩れなど危険箇所の確認や樹木の確診処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。
- ウ 危険箇所の早切発見と迅速な修繕等を行い、利用者の安全・安心に努めた。
- エ 除草を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

(6) 災害への対策

- ア 入所時にオリエンテーションを行い、危険の認知力や調整能力を育てた。
- イ 方が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。
- ウ 様々な情報を集め、素早く利用者に伝え、事故防止に努めた。

(7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。施設内の消毒、換気の徹底、浴室の利用の制限、食堂のついで等、新型コロナウイルス対策

に振り直した。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

#### ア 施設設備の改修

(3) 屋外及び職員便所の洋式化

#### イ 職員の安全衛生意識の向上

(3) 嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備

(4) 職員に対する安全衛生講習会の実施

(6) 嘔吐物処理キットの整備と処理手順の実技研修を継続実施

### ＜令和4年度＞

#### (1) 利用団体（学校等）に対する指導の充実

##### ア 利用団体研修会の開催

入浴予定の幼・保育園・小学校・中学校の教員を対象にした研修会を2回開催した。研修会では、自然体験の意義や活動プログラムの説明をしたり、野外活動を実際に体験してもらった。また、活動計画の立案や安全対策に関する支援及び新型コロナウイルス対策についても研修内容に加えた。

事業名	期 日	内 容	対 象	参加人数
利用団体研修会	4月15日 8月23日	活動プログラムの説明及び 野外活動体験 等	本所を利用する学 校等の教職員	63人 40

##### イ 事前打ち合わせの実施

利用日の一ヶ月前までに利用団体と事前打ち合わせを実施した。利用者の立場に立ち、具体的なアドバイスを行い、より安全に活動の目標を達成するための支援を行うことができた。また、新型コロナウイルスについても利用団体と対策を共有することができた。

##### ウ 令和4年度の学校等の利用状況

区分	学校種別等	団体数	延べ利用人数
学校関係	幼・保育園	23 園	1,806 人
	小学校	104 校	15,854
	中学校	6 校	1,752
少年団等	子供会、ボーイスカウト	1 団体	353

##### エ 利用者の満足度

利用者アンケートの結果、「満足」及び「ほぼ満足」は100%であった。

#### (2) 主催事業の充実

##### ア 小学生向けの宿泊イベント

観音山の特色を生かした創意ある企画を立案、実施することができた。小学生の発達段階に応じて実施した「冒険王国 in 観音山」「観音山アドベンチャーキャンプ」「観音山もりもりキャンプ」は、活動プログラムにストーリー性を持たせ、子どもたちが興味を持続できるよう工夫した。様々な自然活動の中で、子どもたちは仲間と協力し合い、頑張りがたく姿が見られ、ひとりひとりが逞しく成長することができた。

なお、「冒険王国 in 観音山」は、4泊5日での企画を立案していたが、新型コロナウイルスの状況を安全面から考慮し3泊4日と1日短縮して行った。

事業名	期 日	対象	内 容	参加 人数
観音山もりもりキャンプ	2月25～26日 3月 4～ 5日	小学校 1～3年生	森探検、夜探検、山探検	59人 59
観音山アドベンチャーキャンプ	11月19～20日	小学校 4～6年生	森林探検、夜間ハイキング	78
冒険王国 in 観音山	6月18～19日	小学校 5・6年生	ロングハイキング、沢登り、 キャンプファイヤー等	58
	8月 8～11日		新型コロナウイルスの 安全対策上1日短縮	57

#### ノ 家族向けイベント

「観音山ファミリーDAY」は、9月に1泊2日で竹水鉄砲作りや丘空観察等、12月には口  
端りの2日間です。年々・年始めに使うクリスマスリース作りや松作りを行った。家族で協力した  
創作活動や星空観察など、家族の絆を深めるための貴重な時間を提供することができた。

また、「観音山子どもフェスティバル」や「観音山わくわくホリデー」などのイベントでも利  
用者の拡大を図った。なお、「ぶらっと観音」は、8月で予定した沢登り等について、前日ま  
での降水による状態不良のため、安全を考慮し中止とした。

事業名	期 日	対象	内 容	参加 人数
観音山子どもフェスティバル	4月23日	親子及びその家族	ハイキング、ゲー ム・ビンゴ大会	28人
	4月24日			38
観音山ファミリーDAY	9月 3～ 4日	親子及びその家族	ハイキング、竹水鉄 砲作り、星空観察等	23
	12月17日			45
	12月18日			60
観音山わくわくホリデー	10月23日	親子及びその家族	火おこし、野外炊事等	33
	2月12日			33
ぶらっと観音	5月15日	般	二ハイキング	69
	8月21日			天候不良による沢の 状態不良のため中止
夜間ハイキング	9月17日	般	ハイキング(夜景等)	47
観音山ハイキング	2月19日	般	一般ハイキング	7

#### ウ 参加者の満足度

参加者からのアンケートによると「満足」及び「ほぼ満足」との回答が多く寄せられ、満足  
度は100%であった。内容に関する貴重な意見は次年度の三休事業に反映させていく。

#### (3) 野外活動指導者の育成

青少年野外教育スタッフ養成事業として実施した「リーダースクール in 観音山」には、延  
べ34人の大学生が参加した。大学生は、活動を通して野外活動に関する知識・技能を習得し  
たり、人との繋がりや関わりの意義を感じるなど、大きく成長することができた。

また、「観音山アウトドア教室」には、27人の中高生が参加し、地域社会で活躍する野  
外活動リーダーとして必要な知識・技能を習得することができた。

事業名	期 日	対象	資格 取得	内 容	参加 人数
リーダースクール in 観音山	5月28～29日	大 学 生 社 会 人	継続	「冒険王国 in 観音山」アドベンチャー キャンプに参加 野外活動・安全管理等の講 義・実技講習等	11人
	6月18～19日				11
	8月 7～11日				10
	11月19～20日				2



観音土アクトピア教室	1月 7～ 9日	中学生 高校生	初級	ラント設備、ロングハイク ンク・クジフト、講習 等	27
ボランテニア	4月23～24日	小学生		観音山のボランテニアスタ ップとしての技術の習得	13
やまびこ会研修会	2月25～26日				21
	3月 4～ 5日				24

#### (4) 利用の促進

利用者数や利用者層の拡大を図るために積極的な広報活動やHPの充実に努め、その成果として延べ利用者数は21,781人となり令和3年度と比べて増加した。しかし、新型コロナウイルス対策で幼稚園や学校側からの要請による利用中止や活動日の短縮は生じた。なお、静岡県側からの要請による利用にはなかった。

区 分	取 組 内 容
広報活動	・ 施設機関へのイベント情報の提供 ・ HPによる主催事業等の詳細情報の迅速な提供
学校等訪問	山形教育委員会及び学校訪問等（イベントチラシの配布等）

#### (5) 施設・設備の安全対策

- ア 案内表示や地点番号など活動に支障がないかエリアの点検整備をした。
- イ かけ崩れなど危険箇所の確認や倒木の確認処理、スズメバチの駆除を行い、安全で快適な施設の維持を図った。
- ウ 安全点検を定期的に行い、危険箇所の早期発見と迅速な修理等により、利用者の安全・安心に努めた。
- エ 除草作業を定期的に行い、マダニ等の害虫予防を図った。

#### (6) 災害への対策

- ア 入所時にオリエンテーションを行い、危険予知能力や回避能力を育てた
- イ 万が一を想定した防災訓練や避難訓練を重ねて行うことにより、非常災害発生時において迅速な対応がとれるよう努めた。
- ウ 利用者の事故防止のため、様々な情報を集めて的確に利用者へ伝えた。

#### (7) 施設内の衛生管理の徹底

定期的な安全対策マニュアルの見直しなど衛生管理体制を再確認し、再発防止に取り組んだ。施設内の消毒、換気の徹底、浴室の利用の制限、食堂のついでたて等、引き続き新型コロナウイルス対策に取り組んだ。

不断の見直し・改善を行い衛生管理の徹底と施設利用者の安全・安心の確保に努めた。

#### ア 施設設備の改修

- (1) 共有戸照明等更新工事（宿泊室等の非常用照明などの更新）
- (2) アルミ製建具等更新工事（玄関等のオペレーターなどの更新）

#### イ 職員の安全衛生意識の向上

- (1) 嘔吐等発症者発生時対応マニュアルの整備
- (2) 職員に対する安全衛生講習会の実施
- (3) 廃棄物処理キットの整備と処置手順の実技研修を継続実施

### 5 実績（成果）

令和4年度は利用者数及び団体数とも令和3年度を上回ったが、新型コロナウイルスの影響もあり、特に7月は利用回数が1程の縮小が発生した。また、他の学校と同時入所を避ける傾向と、学校の授業時間の確保のため、泊数を減少せざるを得ない実情もあり、利用者減少の要因となった。しかし、本所での体験活動が、子どもたちにとって非常に成長の高い活動となっていることが各校

のアンケートからはっきりしており、活動意義は非常に高いものであると確信する。それは、子どもたちの困難克服及び集約協力を目的とした学校活動のねらいに大きく寄与し、一人一人の成長を促しているからである。

(1) 年度別・月別利用者数

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	24年度	1,762	3,779	5,461	6,773	2,653	3,517	4,866	4,935	3,159	1,488	1,545	
25年度	1,995	4,732	3,845	6,313	2,654	4,445	4,276	5,346	1,929	2,974	1,301	689	46,479
26年度	1,798	4,210	4,354	5,745	1,976	3,828	5,397	4,422	3,860	2,595	737	884	39,935
27年度	2,555	5,271	5,090	6,313	1,911	3,168	5,824	2,947	3,284	3,578	1,200	1,193	42,234
28年度	2,901	3,837	5,487	6,738	2,604	4,244	4,820	4,033	3,379	3,161	993	935	41,332
29年度	2,742	2,611	4,374	6,162	1,654	3,801	4,719	4,213	1,758	937	1,112	687	35,259
30年度	1,942	3,411	4,472	5,435	2,288	2,969	4,309	5,291	2,366	1,846	1,036	538	36,093
元年度	2,026	2,833	4,101	4,665	1,943	3,251	3,519	1,547	2,511	2,317	1,009	89	22,835
2年度	0	0	32	659	1,056	2,126	2,973	2,651	2,907	2,077	1,353	174	16,603
3年度	335	1,120	2,762	1,884	0	58	1,776	2,311	2,309	1,151	92	9	14,825
4年度	472	2,377	3,258	2,374	699	1,460	2,238	3,026	2,714	1,843	736	199	21,761
計	18,528	34,181	43,436	52,931	18,953	33,170	44,466	45,594	30,093	22,636	11,041	6,313	361,417
集約	5.1	9.5	12.0	14.6	5.2	9.2	12.3	12.6	8.3	6.9	3.1	1.8	100

(2) 対象者別利用者数

区分	令和3年度						令和4年度					
	団体数		延人数		実人数		団体数		延人数		実人数	
	数	割合	人数	割合	人数	割合	数	割合	人数	割合	人数	割合
中学生	4	2.1	1,917	6.9	440	5.9	9	3.7	1,752	8.1	693	7.7
小学生	87	67.4	11,927	74.4	5,641	68.0	101	63.4	13,854	72.9	7,302	66.7
児童												
大学生												
高校生												
社会人	1	0.8	30	0.9	65	0.8	1	2.4	353	1.6	209	1.9
幼稚園	21	16.3	1,556	10.5	1,428	17.2	23	14.0	1,806	8.3	1,479	13.4
小学校 特別学	1	3.1	206	1.4	103	1.2	8	3.7	173	0.8	90	0.8
成人	2	1.5	68	0.4	68	0.8	1	2.4	193	0.9	159	1.5
その他	19	7.8	821	5.5	553	6.7	17	10.4	1,626	7.4	877	8.0
計	129	100	12,835	100	8,293	100	162	100	21,751	100	10,913	100

(3) 宿泊「数別」、対象者別利用者数

<令和3年度>

区分	1泊1日		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
小学生			3	606	1	411									4	1,017
小学生 勤労者	18	1,134	53	7,258	14	2,637									85	11,027
大学生 高校生																
少年団休 会館				130											1	130
幼稚園 青少年指導者	18	1,309	3	258											21	1,566
成人	2	68													2	68
その他	6	321	3	362	1	168									10	851
計	47	2,823	63	8,316	6	3,186									129	14,895

<令和4年度>

区分	1泊1日		1泊2日		2泊3日		3泊4日		4泊5日		5泊6日		6泊7日		計	
	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数	団体数	延人数
小学生		28	5	1,458	1	370									6	1,756
小学生 勤労者	9	987	55	8,918	30	5,949									104	15,854
大学生 高校生																
少年団休 会館	1	69	4	264											4	333
幼稚園 青少年指導者	13	1,119	10	660											23	1,779
成人	2	45	4	78					1	60					6	173
その他	3	125	1	68											4	193
計	37	2,752	74	13,274	32	6,312	1	228	1	186					164	21,751

6 評価・改善

利用者からの意見を取り入れ、毎年度末には本所の運営、主催事業や利用者支援などソフト面及

び施設設備などのハード面について、所員が利用者の立場に立って、様々な観点から評価を行った。反省点や改善点を基に翌年度の本所運営に、可能なものから反映させ利用者へのサービス向上を図った。

<令和3年度>

課 題	対 策 (改 善)
安全管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策マニュアルの検証・改訂</li> <li>・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施</li> <li>・嘔吐物処理研修</li> <li>・避難訓練</li> <li>・沢、川における救命訓練</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の実施 食堂のテーブルに衝立設置 宿泊室の定員 31 名から 25 名とし実際は 20 名での運用 風呂の定員を 32 名から 10 名 こまめな換気、消毒 主催事業の募集定員の減 等</li> </ul>
指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援</li> <li>・実践の中での経験値の伝承</li> <li>・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言</li> <li>・主催事業の充実</li> </ul>
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HIPの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大</li> <li>・県民だよりでの宣伝を拡大</li> <li>・SDOを活用した広報の拡大</li> <li>・広報誌への情報提供</li> </ul>
利用者層の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催事業など広報活動の推進 (HIPの充実など)</li> <li>・学校、利用団体、関係機関へのイベントチラシの配布</li> <li>・関係機関や地域人材と連携した主催事業内容の見直しと改善</li> </ul>

<令和4年度>

課 題	対 策 (改 善)
安全管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策マニュアルの検証・改訂</li> <li>・活動エリアの点検を定期・随時・緊急の点検を実施</li> <li>・嘔吐物処理研修</li> <li>・避難訓練</li> <li>・沢、川における救命訓練</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の実施 食堂のテーブルに衝立設置 宿泊室の定員 31 名から 25 名とし実際は 20 名での運用 風呂の定員を 32 名から 10 名 こまめな換気、消毒 主催事業の1種短縮及び募集定員の減 等</li> </ul>
指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の自然や利用団体のニーズに合った指導や支援</li> <li>・実践の中での経験値の伝承</li> <li>・事前打合せでの利用団体(学校等)への適切な指導・助言</li> </ul>
閑散期の利用拡大と施設稼働率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくに安全安心認証(宿泊施設)制度認証</li> <li>・主催事業の充実</li> <li>・HIPの迅速アップを図り、新規利用者とリピーターを拡大</li> <li>・県民だよりでの宣伝を拡大</li> <li>・SDOを活用した広報の拡大</li> </ul>
利用者層の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催事業など広報活動の推進 (HIPの充実など)</li> <li>・学校、利用団体、関係機関へのイベントチラシの配布</li> <li>・関係機関や地域人材と連携した主催事業内容の見直しと改善</li> </ul>

## 7 職員について

### (1) 異動

(令和4年度末)

職名 区分	所長	所長 補佐	主事	班長	教育 主幹	教育 主査	教育 主任	計
転出者	1人	1人				1人		3人
転入者	1人	1人			1人			3人
差引増減	0人	0人			1人	▲1人		0人

### (2) 現員数

(令和5年4月1日現在)

性別	所長	所長 補佐	主任 (昇格)	班長	教育 主幹	教育 主査	教育 主任	計
男	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人	8人
女								0人
計	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人	8人

### (3) 健康

健康管理については、定期健康診断受診を促し、疾病の早期発見と健康意識の向上に努めた。  
なお、本所は野外活動を中心とした業務や宿舎もあり、日ごろから所員の健康管理には細心の注意を払っている。

### (4) 職員研修

- ア 社会教育施設職員としての専門性と指導力を向上させるため、職員研修計画のとおり推進した。
- イ 主幹専業を毎月1回以上開催し、様々な活動における問題点を提示し、その解決と共通理解に努めた。また、班長が相互に講師となり、活動プログラムの指導技術の向上を図った。
- ウ 主催専業での散策ルート等の下見を実施し、事前に把握することで安全対策等指導技術の向上を図った。
- エ 感染症予防に関し、嘔吐処理訓練を行い、危機管理意識の向上を図った。
- オ 野外活動での事故を想定して救助訓練を実施し、救助・救命の知識・技術の向上を図った。
- カ チェーンソーの技能講習会に参加し、労働安全衛生意識と伐木等の技能の向上を図った。

## 8 防災対策について

業務の特殊性に鑑み、平常の火災予防及び防災時における施設利用者の安全確保に重点を置いた防災対策を講じている。消防計画書に基づき防災訓練等を行い、職員の防災意識を高めている。

なお、地震対策についても、日頃の準備行動も盛り込んだマニュアルを整備し、利用者の安全確保に努めている。

さらに、備蓄食料は、宿泊定員200人の3日分を確保し、適切な管理の元で不足の事態に備えている。

### <令和3年度>

防災（救助）訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助（防災）訓練
4月1日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
4月9日		夜間宿舎時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練
4月14日			応急処置訓練・救助（バックボード）訓練

5月25日		救助訓練（沢活動時）
5月29日	大学生のリーダー研修会で予告なしの避難訓練	
6月12日		救出訓練（救出・救急車養成マニュアルを活用した机上訓練）
10月19日		遭難訓練（山での活動時の遭難を想定した机上訓練）
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星電話の通話確認</li> <li>地震関連情報等一斉配信システム確認訓練</li> <li>参集状況確認訓練</li> </ul>	突発地震における（活動中）イメージ訓練

<令和4年度>

防災（救助）訓練及び安全管理の一環とした訓練を実施し、所員の危機管理意識の高揚に努めた。

実施日	防災訓練	消防訓練	救助（防犯）訓練
4月1日		消防設備点検、使用方法及び避難経路の確認	
4月9日		夜間宿直時を想定した火災避難訓練	嘔吐物処理訓練
4月29日			応急処置訓練・救助（バックボード）訓練
5月28日		大学生のリーダー研修会で予告なしの避難訓練	
6月4日			救助訓練（沢活動時）
6月11日			救出訓練（救出・救急車養成マニュアルを活用した机上訓練）
10月16日			遭難訓練（山での活動時の遭難を想定した机上訓練）
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震関連情報等一斉配信システム確認訓練</li> <li>参集状況確認訓練</li> </ul>		突発地震における（活動中）イメージ訓練

利用者に対し、火災や地震発生時における避難の心得、非常口の位置、避難経路、避難順番について説明及び確認を行うとともに、夜間の防災対策にも協力を呼びかけている。

## 事 業 の 根 拠 法 令 調

事 業 名	根 拠 法 令
静岡県立観音山少年自然の家設置事業	<p>社会教育法（第6条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第30条） （第31条第2項）</p> <p>静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する条例</p> <p>静岡県立青年の家等の設置、管理及び使用料に関する規則</p> <p>静岡県立観音山少年自然の家管理運営及び利用に関する規程</p> <p>静岡県立観音山少年自然の家利用要項</p>

□□□□□□

## 預 金 調

(令和15年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
静岡銀行 小林支店	無利息型 普通預金	0060482	静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者 所長 寺田 容子	0	給与入金用 (法定外控除)
静岡銀行 細江支店	無利息型 普通預金	0243523	(白坂口)静岡県立観音山少年自然の家 資金前渡者 所長 寺田 容子	0	電気料金・ 電話料金用
残 高 合 計				0	



--UUUUUUU

調 査 受 給 等 郵 券 類

(令和5年2月28日現在)  
(単位：枚、円)

区分	種類	令和3年度						令和4年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵便	10円券	109	1,090	250	2,500	267	2,670	95	950	100	1,000	82	820	113	1,130	通絡郵便用
	81円券	130	10,920	600	50,400	652	54,758	78	6,552	250	21,000	307	25,788	21	1,764	通絡郵便用
計	91円券	156	14,664	250	23,500	301	28,291	105	9,870	100	9,000	205	19,270	0	0	通絡郵便用
	100円券	202	20,200	250	25,000	380	38,000	72	7,200	100	10,000	62	6,200	110	11,000	通絡郵便用
	120円券	153	18,360	250	30,000	291	31,920	112	13,440	100	12,000	163	19,560	49	5,880	通絡郵便用
	140円券	104	14,560	450	63,000	415	58,100	139	19,460	100	14,000	114	15,960	125	17,500	通絡郵便用
計				194,400		216,722		67,772		67,700		87,588		37,274		

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和2年度	令和3年度	そのうち、2年度からの繰越額
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	1,898,600	/
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費		30,265,154	
計					10,728,113	32,163,754	0
(14) 借入金等返済	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	10,428,000	/
計					2,673,000	10,428,000	0
(16) 公有財産購入費					/	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	/	759,000	/
計					1,053,580	759,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	/	44,980	/
計					68,850	44,980	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/	0	/
計					0	0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年2月28日現在)

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						左のうち、3年ほからの繰越残分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	369,600	0
	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	27,922,195	0
計					28,291,795	0
(14) 申請費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	665,500	0
計					665,500	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般	教育費	社会教育費	青少年の家費	29,030	0
計					29,030	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

委 託 料 率

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当額額	変更増減額	計	
1	(中務関係) 管備業務委託	総合警備保障株式会社 静岡支社	2,7,800	217,800	0	217,800	随突
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理株式会社	5,024,476	1,242,480	▲ 176,401	4,066,079	一般
3	「家庭用平気工作物 保安管理業務委託	有限会社 森「電気管理事務所	145,200	132,000	0	132,000	随突
4	消防用設備等 保守点検業務委託	東海消防技研株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随突
5	浄化槽 保守点検業務委託	末名興産株式会社	116,600	116,600	0	116,600	随突
6	防鼠防虫 業務委託	株式会社 マルマ	165,000	165,000	0	165,000	随突
7	水質検査 委託	一般財団法人 静岡県生活科学 調査センター	629,310	699,610	0	699,610	随突

関 する 調

(令和3年度)

契約期間	支出 年月日	金額	委託業務の内容	概要
3. 4. 1 ～6. 3. 31	4. 4. 28	72,600	市長室・事務室の夜間機成整備 A：総延床面積 119㎡	R3長期 随契1号 (少額)
3. 4. 1 ～6. 3. 31	3. 5. 31	3,9,000	庁舎の日常清掃及び定期清掃 A：日常清掃(毎日) 1,816.3㎡ 日常清掃(週1回) 527.9㎡ 定期清掃(0°洗剤-20℃) (年1回) 351.5㎡ 定期清掃(床面洗淨75%) (年1回) 1,810.1㎡ ゴミ処理(月1回) 廊下清掃(年2回)	
	3. 6. 30	3,9,000		
	3. 7. 30	363,000		
	3. 8. 31	3,9,000		
	3. 9. 30	3,9,000		
	3.10.29	469,079		
	3.11.30	3,9,000		
	3.12.21	363,000		
	4. 1. 31	3,9,000		
	4. 2. 28	3,9,000		
4. 3. 31	3,9,000			
4. 4. 28	3,9,000			
	小計	4,066,079		
3. 4. 1 ～6. 3. 31	4. 4. 28	132,000	電気工作物の保守点検 N：需要設備容量 135kVA 受電電圧 6,400V 非常用予備発電装置 20kVA	随契1号 (少額)
3. 4. 1 ～6. 3. 31	3.11.30	404,800	消防設備の機能点検及び総合保守点検 N：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常放送設備 誘導灯設備、自家発電設備、防火コネクタ・消火器具 火災通報装置一式 点検回数：機庫点検 1回、総合点検 1回 防火設備点検 点検回数：1回	随契1号 (少額)
	4. 1. 28	256,200		
	小計	661,000		
3. 4. 1 ～6. 3. 31	3.10.29	223,300	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 N：処理方式：合符処理槽(接触曝気(流量調整有)) 容 量：242人槽 1基 360/日 点検回数：維持管理：2巡回、1回 年2回実施	随契1号 (少額)
	4. 4. 28	223,300		
	小計	446,600		
3. 4. 16 ～6. 3. 31	4. 4. 28	165,000	鼠・衛生害虫駆除 N：鼠・害虫駆除 業務回数 巡回点検・生息調査(年1回) 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 (少額)
3. 4. 16 ～6. 3. 31	3.10.29	112,860	飲料水等の水質検査 N：一般飲料水水質検査(1項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 原水、湯がり用湯水質検査(6項目) 3件 浄水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽排水水質検査(4項目) 1件 大腸菌検査 有機物(過マンガン酸カリウム消費量) 1件	随契1号 (少額)
	4. 1. 28	486,750		
	小計	599,610		

## 委 託 料 率

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結方法
				当 初 額	変 化 増減額	計	
8	空調・衛生等設備 保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	劣化診断業務委託	株式会社 河合晴夫一級建築士事務所	1,870,000	1,584,000	0	1,584,000	一般
10	定期点検業務委託	有限会社 山口一級建築士事務所	99,000	99,000	0	99,000	随実
11	産業廃棄物 収集・運搬及び 処分業務委託	株式会社 リサイクルクリーン	51,700	51,700	0	51,700	随実
12	産業廃棄物 収集・運搬及び 処分業務委託	東名興産株式会社	104,500	104,500	0	104,500	随実
13	調理（配膳）業務 委託	株式会社 +Aシーフードサービス	31,754,371	31,621,700	0	31,621,700	随実
	合 計	13件	42,562,207	41,013,390	▲ 176,401	40,836,989	

関 する 調

(令和3年度)

契約期間	支出 年月日	金額	委託業務の内容	概要
3. 4. 1 ～4. 3. 31	3. 9. 30	347,600	給湯設備の保守点検 N：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回	
	3.11.30	75,900		
	4. 1. 31	3,7,900	貯水槽の清掃 N：元水槽 25㎡、木処環受水槽 56㎡ 受水槽 36㎡、高架水槽 10㎡ (各1基) 清掃回数：年2回	
	4. 3. 31	347,600		
	小計	1,389,000	ガスヒートポンプ設備等の保守点検 N：ガスヒートポンプ 4基 暖房系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
3. 7. 21 ～4. 2. 28	4. 3. 31	1,584,000	劣化診断調査及び劣化診断カルテ等の作成	
3.12. 1 ～4. 1. 31	4. 1. 31	99,000	建築基準法第12条に示づく定期点検(建築設備) A：本館棟他の建築設備点検(2,794.80cf)	随契1号 (少額)
3. 8. 17 ～3. 9. 30	3. 9. 30	51,700	産業廃棄物の収集・運搬及び処分(1回)	随契1号 (少額)
4. 2. 21 ～4. 3. 25	4. 3. 31	104,500	グリーストラップ清掃、収集・運搬及び処分(1回)	随契1号 (少額)
3. 4. 1 ～4. 3. 31	3. 5. 31	1,888,313	入所者に提供する給食業務 N：食堂の管理運営 1式 (入所者から徴収)	随契2号 (不償)
	3. 6. 30	1,905,303		
	3. 7. 30	2,752,103		
	3. 8. 31	1,850,313		
	3. 9. 30	1,979,053		
	3.10.29	1,296,803		
	3.11.30	1,898,893		
	3.12.24	2,887,233		
	4. 1. 31	2,323,863		
	4. 2. 28	2,172,983		
4. 3. 31	1,341,923			
4. 4. 28	1,296,812			
	小計	23,093,665		
		32,163,754		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当額	変更増減額	計	
1	(中務関係) 管備業務委託	総合警備保障株式会社 静岡支社	2,7,800	217,800	0	217,800	随突
2	庁舎清掃業務委託	東海ビル管理株式会社	5,339,048	1,759,700	0	4,759,700	一般
3	「家用平気工作物 保安管理業務委託	有限会社 森「電気管理事務所	138,400	138,600	0	138,600	随突
4	消防用設備等 保守点検業務委託	東海消防技研株式会社	882,750	660,000	0	660,000	随突
5	浄化槽 保守点検業務委託	末名興産株式会社	116,600	116,600	0	116,600	随突
6	防鼠防虫 業務委託	株式会社 マルマ	165,000	165,000	0	165,000	随突
7	水質検査 委託	一般財団法人 静岡県生活科学 調査センター	629,310	699,610	0	699,610	随突



関 する 調

(令和4年度)  
(令和5年2月28日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	概要
3. 4. 1 ～6. 3. 31		11, (72, 600)	市長室・事務室の夜間機成整備 A：総延床面積 119㎡	R3長期 随契1号 (少額)
4. 4. 1 ～6. 3. 31	4. 5. 31	356, 400	庁舎の日常清掃及び定期清掃 A：日常清掃(毎日) 1, 816. 3㎡ 日常清掃(週1回) 527. 9㎡ 定期清掃(窓ガラス等) (年1回) 351. 5㎡ 定期清掃(床面洗淨等) (年1回) 1, 810. 1㎡ ゴミ処理(月1回) 廊下清掃(年2回)	
	4. 6. 30	356, 400		
	4. 7. 29	410, 850		
	4. 8. 31	356, 400		
	4. 9. 30	356, 400		
	4. 10. 31	730, 400		
	4. 11. 30	356, 400		
	4. 12. 27	410, 850		
	5. 1. 31	356, 400		
	5. 2. 28	356, 400		
	小計	4, 046, 900		
4. 4. 1 ～6. 3. 31			電気工作物の保守点検 N：需要設備容量 135kVA 受電電圧 6, 400V 非常用予備発電装置 20kVA	随契1号 (少額)
4. 4. 1 ～5. 3. 31	4. 11. 10	404, 800	消防設備の機能点検及び総合保守点検 N：自動火災報知設備、消火栓設備、消火器、非常放送設備 誘導灯設備、自家発電設備、防火コシキッター消火装置 火災通報装置一式 点検回数：機庫点検 1回、総合点検 1回 防火設備点検 点検回数：1回	随契1号 (少額)
	小計	404, 800		
4. 4. 1 ～5. 3. 31	4. 11. 10	223, 300	浄化槽維持管理及び放流水の水質検査 N：処理方式：合流処理槽(接触曝気(流量調整有)) 容 量：242人槽(1基)36t/日 点検回数：維持管理：2巡回、1回 年2回実施	随契1号 (少額)
	小計	223, 300		
4. 4. 14 ～5. 3. 31			鼠・衛生害虫駆除 N：鼠・害虫駆除 業務回数 巡回点検・生息調査(年1回) 害虫駆除(薬剤散布等) 年2回	随契1号 (少額)
4. 4. 14 ～5. 3. 31	4. 11. 10	112, 860	飲料水等の水質検査 N：一般飲料水水質検査(1項目) 11件 一般飲料水水質検査(51項目) 1件 原水全項目水質検査(39項目) 1件 原水、ろ過り用湯水質検査(6項目) 3件 浄水水質検査(4項目) 2件 合併処理浄化槽排水水質検査(4項目) 1件 大腸菌群1件 有機物(過マンガン酸カリウム消費量) 1件	随契1号 (少額)
	小計	112, 860		

## 委 託 料 率

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契約金額			契 約 締結方法
				当 初 額	変 更 増減額	計	
8	空調・衛生等設備 保守点検業務委託	日管株式会社	1,171,500	1,089,000	0	1,089,000	指名
9	定期点検業務委託	有限会社 山口一級建築士事務所	196,000	154,000	0	154,000	随英
10	調理（配膳）業務 委託	株式会社 エムシーフードサービス	29,417,304	29,246,900	0	29,246,900	随英
	合 計	10件	38,625,712	37,477,210	0	37,477,210	

関 する 調

(令和4年度)  
(令和5年2月28日現在)

契約期間	支出 年月日	金額	委託業務の内容	概要
4. 4. 1 ～5. 3. 31	4. 9. 30	347,600	給湯設備の保守点検 N：給湯用ボイラー 1基 点検回数：年1回	
	4. 11. 30	75,900		
	5. 2. 28	3,7,900	貯水槽の清掃 N：元水槽 25㎡、木処和受水槽 56㎡ 受水槽 36㎡、高架水槽 10㎡ (各1基) 清掃回数：年2回	
	小計	741,400	ガスヒートポンプ設備等の保守点検 N：ガスヒートポンプ 4基 暖房系、冷却水系、燃料系・冷媒系、その他 点検回数：年1回	
4. 12. 1 ～5. 1. 31	5. 2. 28	154,000	建築基準法第12条に基づく定期点検(建築物、建築設備) A：六館棟他の建築物、建築設備点検(2,794.80㎡)	随契1号 (少額)
4. 4. 1 ～5. 3. 31	4. 5. 31	1,154,940	入居者に提供する給食業務 N：食堂の管理運営1式 (入居者から徴収)	随契2号 (不償)
	4. 6. 30	2,400,090		
	4. 7. 29	2,883,770		
	4. 8. 31	2,025,335		
	4. 9. 30	1,605,720		
	4. 10. 31	3,036,555		
	4. 11. 30	2,296,665		
	4. 12. 27	2,951,960		
	5. 1. 31	2,548,880		
	5. 2. 28	3,405,120		
	小計	22,808,535		
		28,291,795		

□□□□□

### 負担金支出調

(令和4年度)  
(令和5年2月28日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担 金額	支 出 年月日
1	特別教育講習会 受講料 (チェーン作業)	林材業労災防止 協会静岡県支部	労働安全衛生 法94条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	チェーンソーを用いて の業務に従事するため 労働省令で定める特別 教育の受講が必要	円 19,030	4. 4. 28
2	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会会費	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会 会則第10条	青少年教育施設の運営 の研究・職員研修等の 向上を図ることに必要 な事業	5,000	4. 7. 29
3	静岡県青少年 教育施設協議会 会費	静岡県青少年 教育施設協議会	静岡県青少年 教育施設協議 会会則第9条	青少年教育施設の運営 の研究等の向上を図る ことに必要な事業	5,000	4. 10. 20
計		3件:			29,030	

□□□□□

### 負担金支出調

(令和3年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出 年月日
1	特別教育講習会 受講料 (チェーンソー作業)	林材業労災防止 協会静岡原支部	労働安全衛生 法39条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	チェーンソーを用いて の業務に従事するため 労働省令で定める特別 教育の受講が必要	円 19,030	3. 4. 21
2	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会会費	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会	東海北陸地区 青少年教育施設 協議会 会則第10条	青少年教育施設の運営 の研究・職員研修等の 向上を図ることに必要 な事業	5,000	3. 7. 21
3	小型ボイラー取扱 業務特別教育受講 料	日本ボイラー協会 静岡支部	労働安全衛生 法39条第3項 及び労働安全 衛生規則36条	小型ボイラーの取扱業 務に従事するため労働 省令で定める特別教育 の受講が必要	15,950	3. 8. 6
4	静岡県青少年 教育施設協議会 会費	静岡県青少年 教育施設協議会	静岡県青少年 教育施設協議 会会則第9条	青少年教育施設の運営 の研究等の向上を図る ことに必要な事業	5,000	3. 8. 11
計		4件			24,980	

□□□□□□

上 木 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	製 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	進入路舗装修繕工事	浜 松 市 北区弓佐町 東久留女木 字 観 音 地 内	円 770,000	円 770,000	円 0
		計	1 件	770,000	770,000	0

車 調

(令和4年度)  
(令和5年2月28日現在)

額 計	契約締結方法	受注者	着 完成(予定) 年 月 日	支出金額	工事概要	備 考
10 770,000	随契	株式会社 岩田建設	5. 2. 10 5. 3. 21		舗装修繕工 1.50 m	令和4年 5. 1. 21 額表2号(少額)
770,000						

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	受水槽設備改修工事	浜 松 市 北区引佐町 東久留女木 字 鶴 音 一 地 内	□ 6,479,000	□ 6,325,000	□ 0
2	教育管理費	クーラー室エアコン取 替工事	浜 松 市 北区引佐町 東久留女木 字 鶴 音 一 地 内	□ 1,639,000	□ 1,639,000	□ 0
3	教育管理費	網戸及び網戸レール取 替工事	浜 松 市 北区引佐町 東久留女木 字 鶴 音 一 地 内	□ 2,475,000	□ 2,464,000	□ 0
		計	3 件	10,593,000	10,428,000	0

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	非常用照明等更新工事	浜 松 市 北区引佐町 東久留女木 字 鶴 音 一 地 内	□ 858,000	□ 854,700	□ 0
2	教育管理費	アルミ製器具等更新工 事	浜 松 市 北区引佐町 東久留女木 字 鶴 音 一 地 内	□ 825,000	□ 825,000	□ 0
		計	2 件	1,683,000	1,679,700	0



事 調

(令和3年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年月	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	備 考
計							
円 6,325,000	指名	日管株式会社	3.12.27 4.3.26	6,325,000	ろ過装置制御バルブ改修、ろ過器2基ろ材取替及びタンク補修	有	今年度以下 3.12.13 支払年月1 4.4.28
円 1,639,000	随契	株式会社森本電気工業社	4.2.1 4.3.28	1,639,000	室内機4台、室外機2台取替	有	今年度以下 4.2.25 支払年月1 4.4.11 随契1号(少額)
円 2,464,000	随契	フジタサッシ株式会社	4.2.21 4.3.28	2,464,000	網戸及び網戸レール取替22本、網戸取替え32ヶ所	—	今年度以下 4.2.7 支払年月1 4.4.28 随契1号(少額)
10,428,000				10,428,000			

事 調

(令和4年度)  
(令和5年2月28日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予定) 年月	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	備 考
計							
円 864,700	随契	株式会社森本電気工業社	5.3.2 5.3.28		非常用照明8台、屋外取付2台、調理室ハイロットランプ2個、調理室コンセント1台更新		今年度以下 5.2.21 随契1号(少額)
円 325,000	随契	株式会社水野組	5.3.15 5.3.28		網入り硝子6枚、オパレーター2個、ドアチェック1個更新	—	今年度以下 5.3.6 随契1号(少額)
1,879,700							

### 公有財産調

(令和3年度)

区分	令和3年3月31日現在		増		減		令和4年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 24,656		千円		千円 8,681		千円 15,975	
立木竹	本 8	170					本 8	170	
建物	m <sup>2</sup> 3,213.96 3,051.38	14,170				1,723	m <sup>2</sup> 3,213.96 3,051.38	9,447	
工作物	個 18	10,316				3,958	個 13	6,358	
公有財産に準ずるもの		316						316	
追加種	件 4	246					件 4	246	

令和4年度中増減なし

L L L L L L

### 借地借家等調

(令和5年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は借主氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	1地	少年自然の家 生物数地	浜松市北区引佐町 又久曾女木子観音山	国有林 157号 158号 杉小班	建物敷地	㎡ 8,020	円	円	白 3. 4. 1 至 6. 3. 31	天竜森林 管理署	運動 敷地外
		堰堤及び 水冲敷地		国有林 151号 杉小班	堰堤及び 水冲敷地	101					
		導水管 敷地		国有林 154号 杉小班	導水管 敷地	597					
		導水管 支え敷地		国有林 155号 156号 杉小班	導水管 支え敷地	8					
		導水管・ 水冲敷地		国有林 157号 杉小班	導水管・ 水冲敷地	206					
		管理道・ 置込敷地		国有林 157号 杉小班	管理道・ 園地敷地	711					
		所外活動 遊具場 敷地		国有林 156号 杉小班	所外活動 遊具場 敷地	7,800					
		伐立原木 置込敷地		国有林 159号 杉小班	伐立原木 置込敷地	460					
		置込・水 道管敷地		国有林 158号 杉小班	園地・水 道管敷地	520					
		排水 管敷地		国有林 158号 杉小班	排水 管敷地	57					
		管理道 敷地		国有林 157号 杉小班	管理道 敷地	4,064					
小計						23,397		659,500			
2	1地	公衆便所 敷地	浜松市北区 引佐町東久留 女木100	国有林 150号 杉小班外	公衆便所 敷地	16	—	0	白 3. 4. 1 至 8. 3. 31	天竜森林 管理署	公衆便 所敷地
		小計					16		0		
合計						23,713		659,500			

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る計

(令和4年度)

(令和5年2月28日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
長期継続 契約	警備業務委託	所長室・事務室の夜間 機械警備 (契約日) 令和3年4月1日	217,800		72,600	72,600	72,600
	複写機賃貸借	電子複写機の借り上げ (契約日) 令和2年4月1日	522,720	174,240	174,240	174,240	

主 要 備 品 調

(令和5年2月28日現在)

年度 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	1-13	食品食器洗浄機	食品食器洗浄機	毎日(年間200日) 食器洗浄用(厨房)	平成30年3月	4,320,000
2	1-13	調理器具	立体炊飯器 コリス炊 CR32-150N	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和3年3月	767,800
3	1-99	その他の庁用器具	卓上丁合機 デュオ DC 10	月5回(年間60日) しおり・資料作成用	平成9年3月	690,000
4	1-13	調理器具	ガスオーブンレンジ コリス炊 AYS-1260A	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和5年1月	665,500
5	6-99	その他の諸機券	ウッドチップパー	月3回(年間33日) 歩道用チップ材	平成31年3月	565,000
6	1-99	その他の庁用器具	卓上丁合機 デュオ DC 100L II	月5回(年間60日) しおり・資料作成用	令和4年2月	495,000
7	1-13	食品保存庫	食品保存庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成22年3月	375,900
8	1-13	その他の厨房器具	ガスフライヤー 23L×2層1050×600	毎日(年間200日) 調理用(厨房)	令和元年11月	366,300
9	3-3	喫煙機用器具	スプリング式スクリーン	毎日(年間200日) 食卓にて使用	平成31年3月	356,400
10	10-7	鍵盤楽器	ピアノ	(年間50回) 学校紹介等使用	昭和61年12月	341,000
11	1-5	印刷機	F印刷機 キングラン R737	(年間200日) しおり・資料作成用	平成20年1月	336,000
12	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成24年7月	320,000
13	1-13	その他の厨房器具	配膳台	毎日(年間200日) 食事提供用(食堂)	平成2年7月	320,000
14	3-3	その他の視覚用 発生用機器	プロジェクター EUMC DCP-2	毎日(年間200日) 入所時使用	平成34年10月	312,900
15	2-2	放送装置	放送装置	毎日(年間200日) 入所時等使用	平成元年9月	312,000
16	1-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫	毎日(年間365日) 食品保存用 (コフタイ)	平成29年6月	297,000
17	1-13	冷蔵(凍)庫	冷蔵(凍)庫	毎日(年間365日) 食品保存用(厨房)	平成27年10月	297,000
18	3-3	典字機用器具	手動スクリーン エーエス SMP 150VA K3	毎日(年間200日) 入所時使用	令和3年3月	285,780
19	1-99	その他の庁用器具	その他の庁用器具 旗スポンジ	毎日(年間365日) 旗スポンジ用	平成9年3月	275,628
20	1-13	調理器具	調理器具 立体炊飯器	毎日(年間200日) 食事提供用(厨房)	平成22年3月	264,600



□□□□□□

### 職員の年齢調

(令和5年4月1日現在)

年 齢	人 員	概 要
20 歳未満	0人	
20 歳以上 30 歳未満	1人	
30 歳以上 40 歳未満	2人	
40 歳以上 50 歳未満	4人	
50 歳以上 56 歳未満	1人	
56 歳以上 61 歳未満	0人	
61 歳以上	0人	
計	8人	平均年齢 42.5 歳

□□□□□□

### 健康管理

#### 1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 9人 職員数 9人
受 診 率	100%
年平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

#### 2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休ませる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に感じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが病状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	0人
D 2		要経過観察	1 (2)人
D 3		医療不要	7 (6)人
又 分 者 計			8 (8)人
未 区 分 者 数			0人
合 計			8 (8)人

(1) 管理区分 A~C2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人  
イ 新規採用 人  
ウ 時給労働者 人  
エ その他 ( ) 人